

## 稲作農業の体質強化緊急対策 事業実施計画

## 1 目的

米価下落の中でも営農を継続していくためには、担い手への農地の集積・集約化の確実な推進とあわせて省力栽培技術等の導入により、生産コストを低減し稲作農業の体質強化を図ることが重要である。このため、稲作農業者が取組む生産コスト低減の取組みを緊急的に支援し、米価変動に対応できる稲作農業の確立を図る。

## 2 事業総括表

| 事業区分              | 予算額<br>(千円) | 国庫補助金<br>(千円) | その他<br>(千円) | 補助率 | 備考 |
|-------------------|-------------|---------------|-------------|-----|----|
| 1. 稲作農業体質強化緊急対策事業 | 310,000     | 310,000       | 0           | 定額  |    |
| 2. 推進事務費          | 3,000       | 3,000         | 0           | 定額  |    |
| 合計                | 313,000     | 313,000       | 0           |     |    |

## 3 第1回募集について

- 申込期限：平成27年1月30日（金）
- 助成金交付：平成27年3月中旬
  - ・ 1月15日に開催された国の説明会を受け県協議会は、翌日（16日）に地域協議会への説明会を開催し、農家までの周知を図るなど、短期間での募集に対応。
  - ・ 2月5日の国の補正予算成立を受けて、国に対して申請したところであり、3月中旬の農業者への助成金交付に対応していく。

## 4 第2回募集（追加募集）について

- 申込期限：平成27年2月27日（金）
- 助成金交付：平成27年6月
  - ・ 2月6日の国における追加募集決定を受け、地域協議会を通じて農業者までの周知を実施。
  - ・ 3月上旬に国への申請事務を行い、農家への助成金交付は6月。

## 5 生産者への周知活動等について

事業の推進に伴い発生する説明会の会場借上、農業者向けの事業PR資料作成・配布、助成金振込手数料、通信運搬費等の事務的経費について、推進事務費で対応する。